



石狩地域森林ふれあい推進センター

はじめに

今回は、野幌国有林において、台風被害箇所を自然林へ再生させることを目的とした「野幌森林再生プロジェクト」の一環として実施している「野幌森林づくり塾」について紹介いたします。

野幌の森林は、都市近郊の森林としては、その規模と豊かさは他に類がないほ

どです。
この森林が平成16年9月の台風により被害を受けました。「野幌森林づくり塾」は、その被害地を100年前の原始性が感じられる自然林に再生していくことを目指し、一般市民を対象に、森林づくり作業を体験しながら、森林と人の関わりについて理解を深めていく森林環境プログラムで、平成17年から実施し、今年で14回目を迎えています。

第1回 野幌森林づくり塾

第1回目の塾においては、「自動撮影を用いた野生動物観測（調査）を体験しよう」として、平成18年度か

ら「野幌モニタリング調査」で野生動物の種類とエソシカが森林植生の更新に及ぼす影響、アライグマ等外来種や希少種の把握など野生動物調査を担当している森林総合研究所北海道支所の平川浩文氏に講義をお願いしました。



講義をされる平川氏

最初に自動撮影カメラの説明後、実習（自動撮影カメラの設置）を行い、なぜ野生動物の調査が必要なのか、野生動物の動向等についてご講義をいただきました。

学識者に講義を依頼する際には、それぞれの専門的知識だけでなく、森林内での作業との関わりについても必ず触れていただくようお願いしています。

第2回 野幌森林づくり塾



塾生のみなさんと記念撮影

第2回目の塾は「木材利用について学ぼう」として王子木材緑化株式会社北海道支社様のご厚意により王子エフテックス江別工場（製紙工場）と王子グリーンエナジー江別工場（バイオマス発電）の2カ所を見学させていただきました。午前中は王子エフテックスの説明と工場見学に加えて資料館を見学しました。

午後からはグリーンエナジーでバイオマス発電所の現状と今後の事業計画などの説明を受けました。

当センターとしても初めての企画（工場見学）でありましたが、塾生の皆さんも興

味津々で質問が集中し予定時間をオーバーするほどでした。



工場見学では質問のラッシュ

このように毎年の取り組みを積み重ねた結果、塾生の皆さんは、野幌国有林における様々なイベント等における積極的な参加するだけでなく、野幌森林再生プロジェクトの一員として、実際のボランティア活動に加わり、森林内での作業や調査を行うなど、活躍されています。今後においても、一般市民の皆さんが何を思い、何を考えているのかを常に意識し、有意義な講義内容になるよう継続実施していきたいと考えています。